

5 小名浜港周辺地域の一体的な整備・再生プロジェクト

1 いわきの復興のシンボルとしての小名浜港周辺地域の整備に向けた全体方針

- 物流の拠点である小名浜港の再生はもとより、産業・観光振興の拠点として、さらには、本市の復興のシンボルとして、アクアマリンパークや漁港区、さらには既成市街地をはじめとした周辺地域の一体的な整備・再生に向けて積極的に取り組みます。
- いわきのシンボルとして復興を成し遂げるには、オールいわき体制で取り組むことが不可欠であることから、国・県・民間事業者等と市が緊密に連携し、一体的に取り組めます。

2 小名浜港が持つ強み

<p>○産業・物流拠点 国際バルク戦略港湾 選定 (H23年5月)</p>	<p>○観光拠点 年間250万人を超える 交流人口(震災前)</p>	<p>○漁業拠点 親潮と黒潮が交わる潮目に 隣接 古くからの良港</p>
---	--	--

3 小名浜港周辺地域の復興に求められるもの

(1) 交流拠点機能の再生・拡大

- ・ 既存集客施設の復旧・復興と新たな観光・交流拠点の形成が必要。
⇒ 都市センターゾーンの整備により“小名浜の回遊・交流の潮目”を創出。

(2) 東北地方・市内沿岸域の拠点性の向上

- ・ 震災発生直後から、小名浜港の耐震バースを活用した物資輸送が可能。
- ・ 東北地方の物流、海岸道路によって結ばれた本市沿岸域の交流の拠点性が必要。
⇒ 東北地方及び市内沿岸域の物流・交流の求心性、拠点性をさらに高める。

(3) 新たな海洋文化の形成・発信

- ・ 水産業を中心とした海洋文化の再生が必要。
⇒ 風評被害を払拭する水産業の再建と技術開発等による産業形態の構築。

(4) エネルギー転換への対応

- ・ 本市は昭和30年代に石炭から石油へのエネルギー転換による産業再編を経験。
- ・ 本市沖に導入予定の洋上風力発電等の再生可能エネルギーの拠点が必要。
⇒ 再生可能エネルギーへの転換に適切に対応。

4 小名浜港周辺地域の復興の方向性

- いわきの地域力を集積・発信する“交流・回遊の潮目”の創出
- 自然(海洋)と都市の持続可能な共生モデルエリアの創出

都市センターゾーン

シンボルゲートゾーン

■交通結節点

- 市内外からの交通アクセス拠点の形成
- 市内観光地との連携による公共交通網の整備
- 周辺市街地回遊の発終点

アクティビティゾーン

■コンセプトを持った賑わい交流拠点

- 新たな賑わい拠点
- 災害時避難路及び活動拠点としてのオープンスペースの確保
- 市民・来訪者の交流拠点

複合交流ゾーン

■港湾関係官庁の集約化

- 国、県庁舎に防災機能を付加
- 官民連携による庁舎整備を検討

土地区画整理事業

産業ゾーン

域内の移動手段の確保

■アメニティロード整備

- 既存道路を活用し、避難路を兼ねた市街地への回遊ルートを形成

「海岸道路」の整備による広域ネットワークの形成

「海岸道路」の整備による広域ネットワークの形成

交流エリア (アクアマリンパーク)

■イベントスペース

- さんかく倉庫・屋外スペースでのイベント開催等による賑わい創出

■電気自動車等

- 域内の移動の確保

■魚市場の再生

- 市場等の整備に対する支援
- 従来の漁港機能に、新たな付加価値を形成(せりの観光化等)

いわき物産PR・販売エリア

■第6次産業の拠点形成

- 農林水産物の生産・加工・販売を一括した物産品の販売を行うことにより、本市の第一次産業の再生を図る。
- いわきブランドのPR・販売促進

■東港整備

- 産業活性化のため、東港整備の推進を図る
- 本市の新たなランドマークとして利活用を検討



臨港道路 (橋梁)

海洋科学・環境教育エリア

■環境教育の推進

- 幅広い分野の環境教育を担う環境水族館「アクアマリンふくしま」

海上産業エリア

■洋上風力発電

- 原子力・化石燃料からのエネルギー転換

■海洋観光・レジャー

- 観光資源の拡大

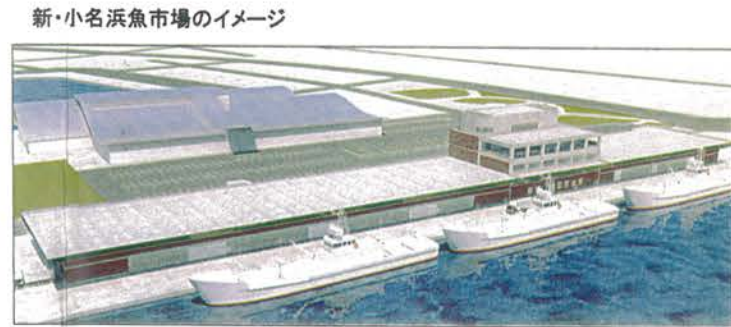
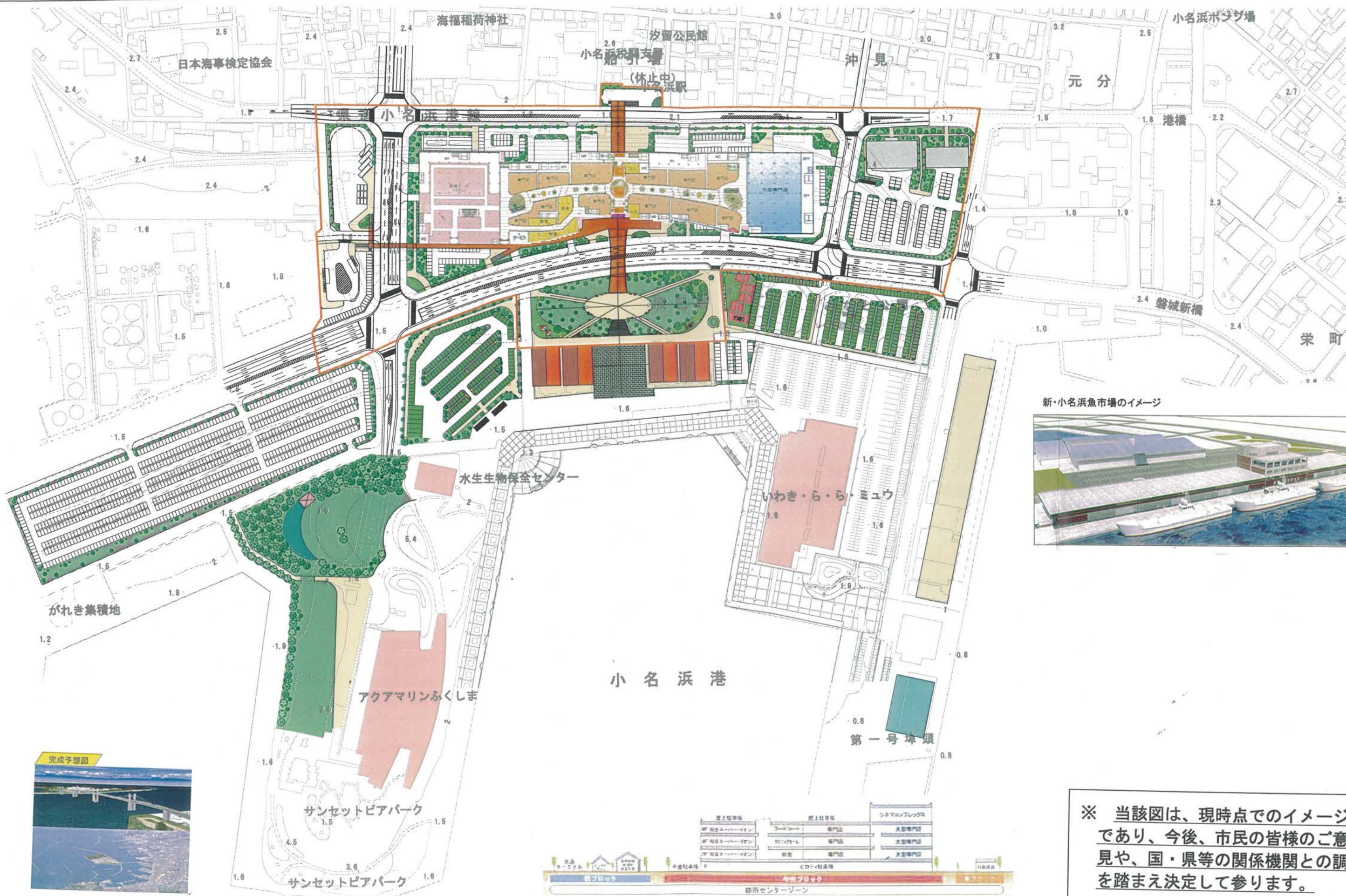


浮体式洋上風力発電

6 主な取組み

主体	主な取組み	備考
国	・小名浜港東港地区国際物流ターミナルの整備	
県	・小名浜港の復旧（港湾施設・漁港区）	小名浜港 復旧・復興方針
	・アクアマリンパークの復旧	小名浜港 復旧・復興方針
	・小名浜港東港地区国際物流ターミナルの整備	県復興計画
	・小名浜港の背後地における港と市街地が一体となったまちづくり（アクアマリンパークとの連携によるにぎわい創出）	県復興計画
	・小名浜港と常磐自動車道を連携する小名浜道路の事業化	県復興計画
	・（都）平磐城線の整備（花畑工区・小名浜工区）	
市	・メモリアル公園の整備	柱2
	・小名浜港周辺地域の復興 □小名浜港背後地震災復興土地区画整理事業 □津波復興拠点整備事業	柱4
	・復興に係る大規模イベントへの支援等 □小名浜みなとオアシス賑わい創出イベントへの支援 □太平洋諸国舞踏祭等への支援 □いわき花火大会への支援	柱4
	・復興に向けた観光PRや情報発信	柱4
	・いわきサンシャインマラソンへの助成	柱4
	・回遊性魚種に対する水揚奨励金	柱4
	・漁業協同組合が行う販路拡大等の取組みに対する補助	柱4
	・小名浜魚市場の再編整備への支援	柱4
	・漁港機能への新たな付加価値の形成（せりの観光化等）	
	・区域内の移動手段としての電気自動車の配置	
	・都市景観形成の推進	
	・避難道路の整備	
	・小名浜港背後地等の整備に係る連絡・調整会議の運営	
	・小名浜港利用促進協議会の運営	

小名浜港周辺地域の整備 イメージ図



※ 当該図は、現時点でのイメージであり、今後、市民の皆様のご意見や、国・県等の関係機関との調整を踏まえ決定して参ります。

5 概ねの整備スケジュール

区分	施設等	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
産業・物流拠点	港湾施設	応急復旧	主要な小名浜港岸壁の概ねの復旧	全港湾施設の概ねの復旧				
	H23.5 国際バルク戦略港湾選 東港地区国際物流ターミナル	岸壁(-20m)、臨港道路、泊地(-20m)、護岸(防波)、防波堤、埠頭用地、荷役機械 (H24年7月 港湾計画一部変更)				一部供用開始予定		
観光交流拠点	都市センターゾーン	土地区画整理事業	調査・事業計画作成	事業認可	測量・設計	仮換地指定	公共施設整備(区画道路等)、整地	まち開き
		津波復興拠点整備事業		都市計画決定	事業認可	設計・津波防災施設(例:歩行者デッキ、築山)等整備		
	土地利用	開発事業計画策定パートナー公募・選定	開発事業計画の策定	開発事業者へ移行	民間施設設計	民間施設建設		
	アクアマリンパーク	<ul style="list-style-type: none"> □ アクアマリンふくしま (H23.7.15 営業再開) □ いわき・ら・ら・ミュウ (H23.11.25 営業再開) ※東北有数の屋内型遊び場「わんぱくひろば みゆうみゆう」新設 □ 小名浜さんかく倉庫 (H23.12.16 営業再開) 						
漁業拠点	漁港施設	漁港区の復旧						
	小名浜魚市場		新・小名浜魚市場、冷結品荷さばき施設、冷凍・冷蔵施設					

6 主な取組み

主体	主な取組み	備考
国	・小名浜港東港地区国際物流ターミナルの整備	
県	・小名浜港の復旧（港湾施設・漁港区）	小名浜港 復旧・復興方針
	・アクアマリンパークの復旧	小名浜港 復旧・復興方針
	・小名浜港東港地区国際物流ターミナルの整備	県復興計画
	・小名浜港の背後地における港と市街地が一体となったまちづくり（アクアマリンパークとの連携によるにぎわい創出）	県復興計画
	・小名浜港と常磐自動車道を連携する小名浜道路の事業化	県復興計画
	・（都）平磐城線の整備（花畑工区・小名浜工区）	
市	・メモリアル公園の整備	柱2
	・小名浜港周辺地域の復興 □小名浜港背後地震災復興土地区画整理事業 □津波復興拠点整備事業	柱4
	・復興に係る大規模イベントへの支援等 □小名浜みなとオアシス賑わい創出イベントへの支援等 □太平洋諸国舞踏祭等への支援 □いわき花火大会への支援	柱4
	・復興に向けた観光PRや情報発信	柱4
	・いわきサンシャインマラソンへの助成	柱4
	・回遊性魚種に対する水揚奨励金	柱4
	・漁業協同組合が行う販路拡大等の取組みに対する補助	柱4
	・小名浜魚市場の再編整備への支援	柱4
	・漁港機能への新たな付加価値の形成（せりの観光化等）	
	・区域内の移動手段としての電気自動車の配置	
	・都市景観形成の推進	
	・避難道路の整備	
	・小名浜港背後地等の整備に係る連絡・調整会議の運営	
	・小名浜港利用促進協議会の運営	